



お客様ケーススタディ

最新のデジタルバンキングソリューションの提供を加速

ペルー最大の銀行は HashiCorp Terraform と Vault を活用し、これまで十分なサービスを受けることができなかった地域へのデジタルバンキングソリューションの提供を加速しています。

// インフラにより実現するイノベーション

BCP の概要

Credicorp Group の子会社である Banco de Crédito del Perú (BCP) は、ペルー最大の銀行であり、総合金融サービスを提供しています。BCP は過去 130 年にわたって同国の金融業界を牽引し、ペルーで最も歴史と価値のあるブランドとなっています。国の経済発展に貢献し、さまざまな計画を実現してきました。同行は、個人、中小企業、法人クライアント、政府機関、マイクロレンダー、国際機関を対象に、幅広い金融商品およびサービスを提供しています。

BCP の基本情報



総資産 390 億ドル



プロビジョニングにかかる時間を
96% 短縮



シークレットの検証を
1 時間ではなく数秒で実施



2,400 台を超える ATM を設置



プロビジョニングの速度を
向上させて市場投入までの
時間を短縮



プロビジョニング手順を減らして
コストを削減

“ Vault のおかげでキーを手動で入力する必要がなくなり、検証にかかる時間が 1 時間からわずか数秒に短縮されたことで、シークレット管理の方法が一変しました。全体的な生産性はもとより、アプリケーションの市場投入までの時間にも大きな効果をもたらしています”

BCP、DEVSECOPS 部門リーダー、ERIKA LEÓN-RAVINEZ 氏

アンデス地域での自動化への取り組み

銀行業は進化し続けています。ほとんどの人にとって、紙の預金通帳を持って窓口に行き、小切手を書いていた時代は過去のものとなっているでしょう。しかしペルーでは、国民の大多数が最新のバンキングサービスやソリューションを利用できずにおり、このような現状を打破すべく、Banco de Crédito del Perú (BCP) は大規模なデジタルトランスフォーメーションに取り組んでいます。

BCP はペルー国内最大の銀行であり、Forbes Global 2000 に選出されている Credicorp の子会社です。2,400 台以上の ATM、7,000 以上のテレバンキングエージェント、400 店舗を超える支店、そしてモバイルバンキングやデジタルウォレットなどのデジタルチャネルを通じて、国内外の数百万人の顧客にサービスを提供しています。しかし、モバイルバンキングやインターネットバンキング、クレジットサービス、デジタル住宅ローンなど、多くのペルー人がこれまで利用できなかった最新のバンキングサービスを提供するには、同行がこれまで構築に着手してこなかった拡張性と俊敏性、そして高いパフォーマンスを備えた IT インフラストラクチャが必要でした。

BCP で DevSecOps 部門のリーダーを務める Erika León-Ravinez 氏は次のように話しています。「今日の競争が激化している環境では、お客様が期待し、要求する新しいアプリケーションやサービスを提供することは一刻を争う問題です。当行では、新しいサーバーの立ち上げから、システムや機密データを保護するためのシークレットの管理、社内外のユーザーに対する新しいサービスのテストと導入に至るまで、レガシーインフラストラクチャで数多くのプロセスを手動で行う必要がありました。すべてを実現するために大規模なデジタルトランスフォーメーションに取り組み始めましたが、これを成功させるには、効率的で柔軟性の高い安全な技術スタックが不可欠であることに早い段階で気付いたのです」

変革の妨げとなる手動プロセス

多くの金融機関がそうであるように、BCP のレガシー IT インフラストラクチャも、さまざまな時期や時代に設計・導入されたものでした。オンプレミスのメインフレーム中心のインフラストラクチャは、長年にわたって金融取引を安全に実行するのに最適でした。しかし、同行がデジタルトランスフォーメーションを推進するために DevOps の考え方を採用してベストプラクティスを導入するのに伴い、BCP の DevOps チームの

León-Ravinez 氏とリードアーキテクトの Edwar Ponte 氏は、経営陣からインフラストラクチャデリバリーとシークレット管理のタイムラインの短縮、そして顧客向けの新しいアプリケーションやサービスの市場投入までの時間を短縮するよう指示を受けました。

この取り組みの大部分は、レガシーインフラストラクチャの大半を、BCP の主要なパブリッククラウドプラットフォームと他のオンプレミスに移行するというものでした。しかし、ハイブリッドインフラストラクチャを異なる環境にデプロイし、サービスを調整して接続し、相互接続されたすべてのシステムでシークレットを確保することは、予想以上に大変な作業でした。

BCP のパブリッククラウドプラットフォームのプロダクト責任者である Michael Garcia 氏は、次のように述べます。「自動化されているものも一部ありましたが、各種ツールの多くでプロセスを手動で処理し、クラウドで新しいアプリケーション開発を行うためのインフラストラクチャを整備していました。インフラストラクチャサービス、コンテナ、データ、クラウドでの分析など、チームごとにさまざまな技術要件があり、プロビジョニングのような重要な作業には何日もかかっていました」

そのうえ、機密性の高いクラウドワークスペースや顧客データへのアクセス認証に欠かせないシークレット管理でさらに重大な課題が生じたのです。これによりインシデントとリスクの数が増加し、BCP の DevOps チームはスケジュールどおりに作業を進められず、プレッシャーにさらされることがよくありました。

León-Ravinez 氏は、このように語っています。「2 年前、当行には 3 つの異なるクレデンシャル管理システムがあり、それらを使用する担当者は、本番環境のユーザーを認証するために手動でキーを入力する必要がありました。場合によっては、シークレットを検証する前に本番環境に渡さなければならなかったため、エラーが発生し、その修正に多くの余計な時間と人件費がかかることもありました。さらに、問題のトラブルシューティングを行うセキュリティアナリストを探すのに 2 時間近くかかることもあり、アプリのレビュー回数が増え、顧客が利用できない時間が長くなってしまったのです」

課題



クラウドとハイブリッドサービスのデプロイを合理化する



手動によるシークレット管理を排除するシステム



デジタルトランスフォーメーションへの取り組みと顧客向けデジタルサービスの提供を加速する

“ Terraform なら、同一企業のマーケットプレイスからセキュリティや運用のガイドラインに沿ってインフラストラクチャをプロビジョニングし、単一のクラウドベンダーに縛られることなく、さまざまなクラウドインスタンスやワークスペースの実装を効果的に管理できます”

BCP、DEVSECOPS 部門リーダー、ERIKA LEÓN-RAVINEZ 氏

加速、変革、前進

BCP は、インフラストラクチャとシークレット管理の運用において、合理化と加速化を図るために HashiCorp Terraform と Vault を導入しました。競合するツールに対して簡単な概念実証を行った後、同行はシンプルさとセキュリティに加え、マルチクラウドやハイブリッド IT 環境への移行をサポートする広範なクロスプラットフォーム機能を実現できる HashiCorp ソリューションの導入を決定しました。

BCP のパブリッククラウドプラットフォームのプロダクト責任者である Michael Garcia 氏によると、BCP の主要な目標の 1 つは、オンプレミスとパブリッククラウドの両プラットフォームでインフラストラクチャのプロビジョニングプロセスを標準化し、開発チームのセルフサービスを強化することでした。

同氏は、このように話しています。「Terraform なら、同一企業のマーケットプレイスからセキュリティや運用のガイドラインに沿ってインフラストラクチャをプロビジョニングし、単一のクラウドベンダーに縛られることなく、さまざまなクラウドインスタンスやワークスペースの実装を効果的に管理できます。さらに重要なのは、すべての開発者が独自のインフラストラクチャをデプロイし、シークレットをプロビジョニングするためのクレデンシャルと証明書をすべて同じ場所から入手できることです。以前は 2 ～ 3 日かかっていた作業が、今では 1 時間もかかりません」

現在では、デジタルウォレットからリモートエージェントのチャットプラットフォームまで、あらゆる重要プロジェクトを担当するチームが、会社のプロジェクトを積極的に推進するために、スピードと俊敏性を高めながら自主的に作業できるようになりました。BCP が HashiCorp のツールを使用して得られるメリットは、インフラストラクチャの高速化と簡素化だけではありません。Vault Enterprise 版にアップグレードしてこのツールを使用する一連のアプリケーションを運用することで、顧客向けアプリやサービスのデプロイに数週間もかかり、これまでチームを悩ませていたシークレット管理の複雑さを実質的に解消できたのです。

また、Vault を使用することで、チームはすべてのシークレットを暗号化するための適切なセキュリティ管理、強力な認証メカニズム、災害復旧プロセスを実現できました。これらはすべて、BCP のセキュリティ運用において基礎となる柱であり、Vault によって同行のセキュリティ体制は大幅に改善されました。

León-Ravinez 氏は次のように話しています。「Vault のおかげでキーの手動入力がなくなり、検証にかかる時間が 1 時間からわずか数秒に短縮されたことで、シークレット管理の方法が一変しました。全体的な生産性はもとより、アプリケーションの市場投入までの時間にも大きな効果をもたらしています。また、非常に機密性の高い顧客データが、どこに保存されていても保護できるという点も重要なポイントです。これにより、当行にとって常に最優先事項であるコンプライアンス要件を満たすことができます」

BCP はまだ長期的な変革プロセスの初期段階にありますが、León-Ravinez 氏と Garcia 氏の両氏、および同僚のパブリッククラウドプラットフォームチームのクラウドエンジニアである Bryan León Arístando 氏は、Terraform と Vault を組織に導入してからの各チームの変化と改善のスピードに大きな展望を見出ししています。Garcia 氏はこのように述べています。「HashiCorp ツールのおかげで、新しいサービスを本番環境にデプロイする時間、対処しなければならないエラーの数、その修正にかかるコストを削減できました。私たちは日々前進し、デジタル化された最新の IT 環境を完成させつつあります。近い将来、ペルーの人々が必要とし、当然のように利用できるデジタルバンキングサービスを提供できるようになるでしょう」

結果



クラウドインフラストラクチャのデプロイ時間を 96% 短縮。2 ~ 3 日かかっていた作業を数時間で完了



シークレット管理を自動化して、検証時間を 1 時間から数秒に短縮



手動データ管理によるコストと対応に時間のかかるエラーを削減



優先順位の高い顧客サービスの市場投入までの時間を短縮

ソリューション

Banco de Crédito del Perú (BCP) は、HashiCorp Terraform と Vault を活用し、クラウドインフラストラクチャの導入を加速しながら機密データを保護しています。この取り組みは、これまで最新のバンキングサービスを利用できず、十分なサービスを受けることができなかった市場に、デジタルバンキングソリューションを拡張するための変革の一環として行われています。

BCP のパートナー



Erika León-Ravinez 氏は、IT 業界で 16 年以上の経験があります。BCP の DevSecOps 部門リーダーとして、BCP の DevSecOps に関連するプロセス、ツール、変更管理、開発のすべての実装を主導する責任を担っています。テクノロジーに情熱を注ぎ、DevSecOps を組織全体に高品質かつ安全な方法で導入するための革新的な方法を模索しています。

Erika León-Ravinez 氏

BCP、DevSecOps 部門リーダー



Edwar Ponte 氏は、BCP の DevSecOps アーキテクトで、CI/CD プラットフォームの責任者です。15 年におよび IT 業界で従事する中で、ソフトウェアエンジニアリング、ソリューションアーキテクチャ、オープンソースソリューションの知識を深めてきました。自社のプラットフォームを使用する開発者の利便性を高めるために、ベストプラクティスとツールを継続的に探索することに積極的に取り組んでいます。

Edwar Ponte 氏

BCP、DevOps 担当リードアーキテクト



Michael Garcia 氏は、BCP のパブリッククラウドプラットフォームのプロダクト責任者であり、過去 4 年間にわたり、クラウド戦略とその導入をリードしてきました。また、クラウドエンジニアとして 10 年の経験を持つ同氏は、BCP およびテクノロジー業界において、パブリッククラウドの変革プロジェクトを主導しています。

Michael Garcia 氏

BCP、パブリッククラウドプラットフォーム担当プロダクト責任者



Bryan León Aristondo 氏は BCP で約 2 年、パブリッククラウドプラットフォームの導入を支援しています。5 年にわたり複数の企業でデジタルトランスフォーメーションを推進する IT コンサルタントとして従事し、50 件以上のテクノロジーソリューションの導入プロジェクトを率いてきました。現在は、パブリッククラウドインフラストラクチャの運用安定化、プロビジョニング、改善に関するいくつかの取り組みを推進しています。

Bryan León Aristondo 氏

BCP、パブリッククラウドプラットフォーム担当クラウドエンジニア

テクノロジースタック

- インフラ: Microsoft Azure、オンプレミス、メインフレーム
- ワークロードの種類: Linux (80%)、Windows (20%)
- コンテナランタイム: Azure AKS、Red Hat OpenShift
- オーケストレータ: XL Release、Jenkins
- CI/CD: Jenkins
- バージョン管理: Bitbucket
- プロビジョニング: HashiCorp Terraform、IBM Cloud Orchestrator、手動
- セキュリティ管理: Azure Key Vault、HashiCorp Vault

